島根県益田市真砂地区

地域づくりのテーマ：「食育」と「福祉」を主軸に、地域で子どもを育てる“子育てしやすい”まちづくり

①地区の概要

【地区の現況】

人口：288人、高齢化率：55．9%（令和6年12月末時点）

【地区の魅力】

日晩山（標高744m）の伏流水を利用した米や豆腐が特産品。H23年度から公民館・地域商社・小中学校が連携して開始した「食育活動」が実を結び、現在は社会福祉法人も参画し発展。さらに真砂保育園の「里山保育」は地域住民を巻き込んだ小さな福祉活動として定着しており、山間部の小さな地区ながらソーシャルイノベーションの事例として地域づくりの専門家からも注目されている。令和4年3月からは統廃合となった中学校跡地に小学校、保育園、保育園、診療所、防災拠点がすべて一体となった複合施設（地域活性化交流館）の運営もはじまった。

【地区の課題】

年々深刻となる人口減少、高齢化。交通弱者の方の買い物、通院支援。
複合施設の運営はまだまだ手探り状態。小学校・保育園・公民館・診療所としっかりと連携を取りながら一体となって地域の問題解決に向け取り組んでいきたい。

②実施団体の概要

【団体の名称】

地域自治組織　ときめきの里　真砂（H28.4.24設立）

【構成団体、構成員】

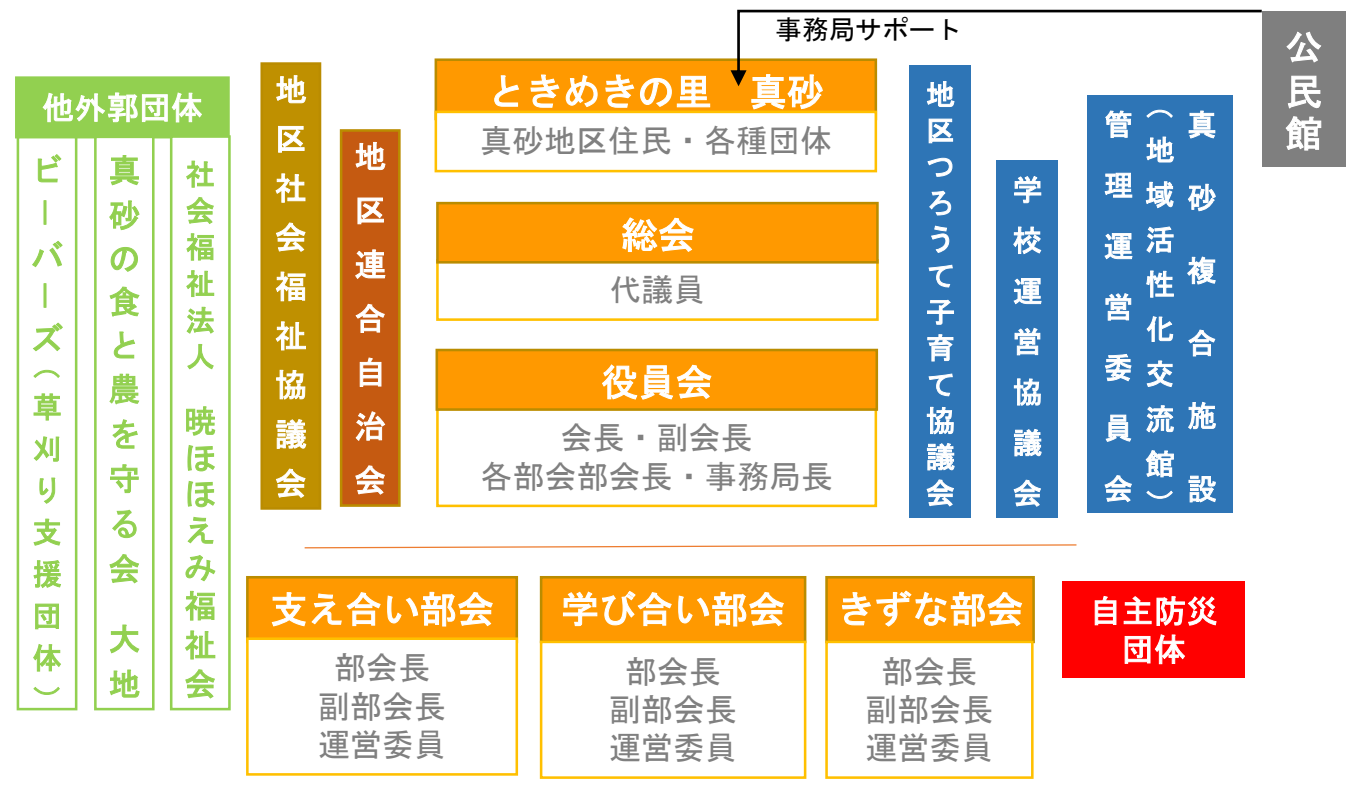
会長1名、副会長2名、監事2名、事務局長1名、会計1名

- 支え合い部会　（男性2名、女性5名）
- 学び合い部会　（男性4名、女性2名）
- きずな部会　（男性10名、女性5名）
- 自主防災団体真砂　（班長5名、事務局1名）

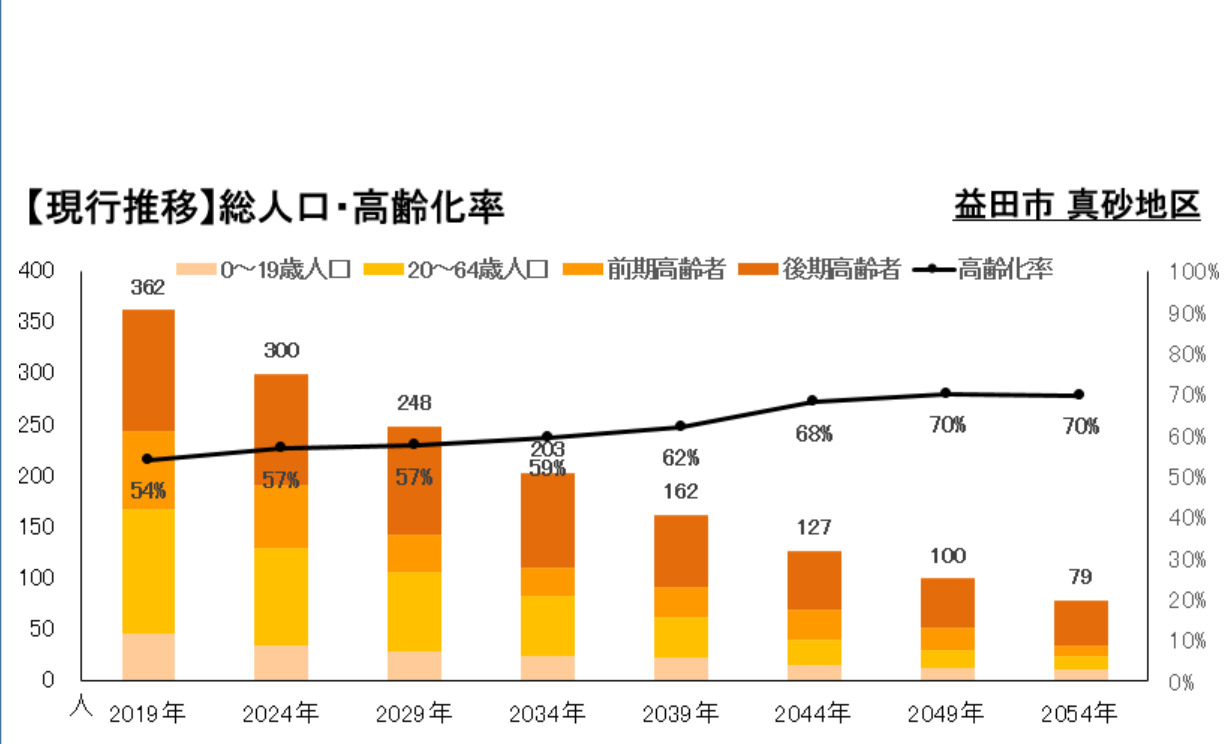
◇他主要活動

・ひら山のふもとカフェtele-glue（てれぇぐれぇ）運営管理

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

◆ふれいあバスツアー《買い物支援×交流》

・交通弱者を対象に、地区内デイサービスの送迎車の空き時間を利活用し、市内大型スーパーで買い物をした後、真砂保育園にて園児と交流するバスツアーを月1回実施している。

◆地域拠点活動《ひらやまのふもとカフェてれぇぐれぇの運営・管理》

・地区内に商店がないため、買い物が困難な住民のために日用品販売を実施（地域と企業の協働による生活機能確保モデル事業）
・子どもや高齢者の居場所づくりを目的とし、駄菓子屋や送迎付きの高齢者サロンを実施。
・診療日や運動会、納涼祭等に合わせお気軽カフェを実施。

◆出張カフェ・出張販売《買い物支援×交流》

・公民館が行っている出張講座に合わせ実施。交通手段がない方や、集まった方々にカフェを提供したり、日用品等を販売。また、ローソン高津店にご協力いただいて移動販売（地区内3ヶ所）を実施。

【団体長メッセージ】

ときめきの里真砂をH28年に設立以来諸先輩をはじめ、地域住民の方々と地域の元気づくりに歩んでまいりました。その間人口減少によるスタッフ不足、少子高齢化などにより地域活動が停滞してしまいました。そのような真砂地域ではありますが「ローソン高津店」の移動販売、ジュンテンドーさんとの協働による日用品販売（県モデル事業）等を主要事業に取り組んでいます。今後はこれらを軌道に乗せるべく活動するとともに「地域活性化交流館」を活用して農業支援（真砂の食と農を守る会）連携活動、他現在取り組んでいる多くの事業を取り残すことなく住民の方がたと手を取りあって前進したいと思います。

島根県益田市真砂地区

⑤こんなことが話し合われています

定期総会（4月）

益田市立地域活性化交流館　、メディアルームにて実施。
前年度事業報告・決算報告
新年度事業計画・収支予算案の承認

視察

・市長会
・北海道中頓別町
・岡山県津山市
・島根県健康福祉部
・県子ども・子育て支援課
・兵庫県丹波市
・大阪府高槻市
・福井県若狭町
・内閣府
・雲南市
・太田市大森町
・鹿児島県天城町
・大田市三瓶町

イベント実行委員会

さくら祭り、運動会、まるごとフェスタ等のイベントを開催するにあたって実施

子ども会議

駄菓子屋で子どもが集まるタイミングを利用し、つろうて子育て協議会が主催し夏休み、冬休みの過ごし方を保護者と一緒に話し合った。

⑥こんな地域づくりを行なっています

きずな部会　多世代交流イベント

目的：地域の子どもと大人が様々な活動によりつながることで、子どもたちの思い出づくりと地域への愛着形成を、また大人が活動を通し地域の子どもたちの性質を把握したり様々なことを伝えることで次世代育成を図る。

概要：**①「親子で川遊び」**

８月３日（土）子どもたちの夏休み活動の一環として柿原地区で川遊びを実施

②「みんなでラジオ体操」

８月、全5回実施

③「大学生と夏休みの勉強会」

８月１９日 ボランティアハウスと共催で、
真砂出身の大学生数名を講師に迎え、小中学生の夏休みの宿題を教えてもらいながら交流した。

支え合い部会　認知症予防カフェ

目的：認知症の予防と家族へのケア、及び地域全体での理解促進を目的とし、設立以降毎年継続中。

概要：年3回、デイサービスひぐらし苑にて開催（送迎付き）。 みんなでおしゃべりをしたり、ビンゴゲームで脳を活性化させるなど楽しいひと時を過ごした。
また今年度はシニアカーの講習も行った。

支え合い部会　移動販売

目的：独居や高齢者世帯の買い物弱者のための支援としてローソン高津店にご協力いただき実施。

概要：月に3回程度、主に月曜日に実施。
tele-glueをはじめ、地区内3ヶ所で販売。

地域活動拠点　ひら山のふもとカフェtele-glue（てれぇぐれぇ）
日用品販売

目的：地区内に商店がないため、買い物が困難な住民のために生活必需品の販売を行い、多目的で自然に住民が集う場所づくりを行う。

概要：地域と企業の協働による生活機能モデル事業
１０月１６日にオープニングセレモニーを行い、その後週３日程度（月・火・金）開店。

地域活動拠点　ひら山のふもとカフェtele-glue（てれぇぐれぇ）
駄菓子屋

目的：昔懐かしい駄菓子を販売することで小学生・保育園児・郷愁感に浸る住民も通う場所になり、多世代交流ができる地域の拠点となることを目指していく。

概要：週２日程度実施。

お問い合わせ先

【ときめきの里　真砂　事務局】
〒698-0041　益田市波田町イ490-1　ひら山のふもとカフェtele-glue横
TEL／FAX　0856-26-0002（真砂公民館内）
HP（真砂+）　http://masagoplus.jp/
Facebook（真砂+）　https://www.facebook.com/masagoplus/